

## 令和4年（2022年）度 地域連携活動報告書

連携先名称：茨城県常総市

協定締結日：令和2年（2020年）12月23日

活動状況：継続中

連携先窓口：茨城県 常総市 産業振興部 川沼 一巳 様

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：野口敬夫（食料環境経済学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：大浦裕二（食料環境経済学科）

活動目的：1. 「常総市アグリサイエンスバレー」事業に関わる事項  
2. 市の特産物のブランディング等の農業及び関連産業の活性化に向けた事項  
3. 人材育成に関わる事項  
4. その他両者の協議により必要と認める事項

活動内容・成果：

アグリサイエンスバレー事業における道の駅の開業に向け、地域農産物の6次産業化やブランド化に係る調査研究を受託し、現地視察・調査を実施した。

●実施日：令和4年12月21日（水）

●参加者：東京農業大学 国際食料情報学部・食料環境経済学科  
合計30名（教員3名、学生27名）

●調査・視察先

- ・アグリサイエンスバレー事業地
- ・株式会社ムロオ北関東支店
- ・地域交流センター（豊田城）
- ・関東農政局茨城県拠点
- ・グランベリー大地
- ・常総市役所

●調査・視察風景



アグリサイエンスバレー事業地の視察



株式会社ムロオ北関東支店の視察



地域交流センターの視察



AIモビリティパーク紫峰の説明



関東農政局茨城県拠点との意見交換



グランベリー大地の視察



常総市役所での意見交換会

課題・改善点：

本学学生による常総市の特産物を利用した新たな商品開発、道の駅に対する生産者ニーズを把握することを目的とした研究の必要性などが今後の課題である。